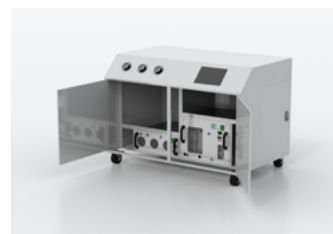


設置事例



陰イオン交換膜(AEM)を用いた水電解水素製造装置は、今や世界30ヶ国において様々な用途で利用されています。AEM式水電解装置で製造された水素は、長期的なエネルギー貯蔵や自動車燃料、工業原料、暖房・加熱用燃料として活用されています。

設置事例

プラグ・アンド・プレイで設置が簡単な当社のシステムを組み込むことにより、様々な形で水素が活用されています。以下にその事例をご紹介します。



電力貯蔵

フランス

アルプス山脈にあるこの山小屋は、水素のおかげで年中営業できるようになりました。2015年より、2kW燃料電池が設置され、悪天候下でも最長16日間にわたり自立型エネルギー供給が可能となっています。

- ≡ 水電解装置：500 NL/h
- ≡ 貯蔵容量：5 kg



モビリティ・ソリューション

中国

エナプターの水電解水素製造装置が、ドローン用の移動式燃料補給ステーションに内蔵されました。水電解装置により、長時間飛行するドローンに燃料となる水素をオンサイト供給しています。

- ≡ 水電解装置：1,000 NL/h
- ≡ 貯蔵容量：3.5 L



電力をガスに変える「Power-to-Gas」

オーストラリア

太陽光電力から製造された水素に、大気中から直接抽出されたCO₂を合成し、再生可能メタンを生成しています。こうした「再生可能エネルギー燃料」は、温熱・冷熱用途や産業向けに利用することができます。

- ≡ 水電解装置：500 NL/h
- ≡ 貯蔵容量：なし



産業ソリューション

ポルトガル

エナプターの水電解装置が、窒素と酸素を分離し、窒素を精製するために利用されています。酸素は水素と反応して水となるため、これを乾燥させることにより、容易に窒素が得られます。

- ≡ 水電解装置：1,000 NL/h
- ≡ 貯蔵容量：なし



電力貯蔵

仏領レユニオン島

徒歩またはヘリコプターでしかアクセスできない集落が、2017年より太陽光と水素で自立的にエネルギーを供給できるようになりました。この電力貯蔵システムは、10日間の自立型供給が可能です。

- ≡ 水電解装置：500 NL/h
- ≡ 貯蔵容量：3 kg



電力を熱に変える「Power-to-Heat」

オランダ

2019年6月、ロッテルダムのローゼンブルフ地区で、初の水素エネルギーによる住宅暖房プロジェクトが公式に始動しました。グリーン水素が直接暖房に利用されています。

- ≡ 水電解装置：4,000 NL/h
- ≡ 貯蔵容量：なし

その他のエナプター設置事例はこちら：

www.enapter.com